

長工野球の思い出

昭和41年卒 藤山 徹

昭和40年第47回全国高校野球選手権大会県大会が7月19日熱戦の幕をあけた。

2日目佐世保南との試合、1回2死、走者3塁のとき 1-3後大会第一号のホームランが左翼席中段に飛び込んだ。今もこの感動は脳裏に残っています。私にとって青春最高の1頁でもあった。

苦しくないと言えば嘘になるけど、楽しい日々でした。一緒に甲子園をめざし練習に励んだ先輩、後輩、また同僚の皆さんとの思い出に感謝いたします。

ふと後ろを振り返ると古希の二文字がすぐそこに・・・ まだまだ、筋肉痛に悩まされながらもソフトボールで余生を楽しんでいます。

いよいよ球児にとっては、最高のそして最後のステージが始まります。一球に一打にかけ青春の賛歌をつづってください。

栄冠は君に輝く！



※ 時津中学出身 長崎記念病院でファーストピッチソフトボールのエースとして活躍した。67歳の今も現役で頑張っている。長工時代は7番遊撃手で活躍、細身の体でパワーがあった。39年秋九州大会、40年春九州大会、夏は長工初の西九州大会へ出場した(県大会1回戦佐世保南戦では左中間のホームランは記憶に残る。)

野球部の沿革-昭和32年から41年(昭和39年、40年参照)